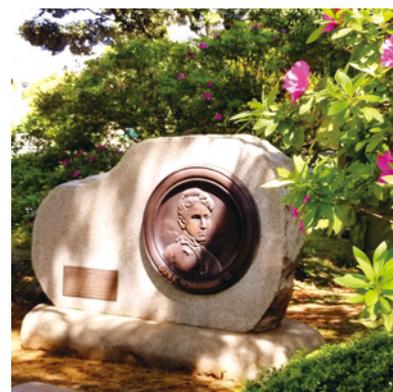




2018.6 No.1

ご寄付をいただいた皆さまに
感謝を込めて
ご報告いたします



学校法人 青山学院

感謝とご支援のお願い



皆さまには、平素より青山学院の募金事業に多大なご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

創立143年を迎えた2017年11月に、青山学院では「青山学院・新経営宣言」を発表し、

その基本戦略の一つとして「万代基金」を創設いたしました。

「万代基金」の目標金額を1,000億円に設定して、2018年4月より募集をスタートしました。

その目的は、給付型奨学金（フィナンシャル・エイド）と教育研究資金（AOYAMA VISION）の充実です。

これからも青山学院の取り組みをご理解いただき、さらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

青山学院 理事長

堀田 宣彌

今後の予定・ご案内

■募金イベント

ご寄付いただいたすべての方々を対象にご案内いたします

日時：10月20日（土）15:00～16:30（予定）

出演者：チェロ奏者 山本 祐ノ介氏（本学校友）

内容：「チェロの調べとトーク」（予定）

■「万代基金」スタートアップ・キャンペーン

「万代基金」創設を機に、ご寄付いただいた方に校友の関係企業に協賛いただき、その商品をプレゼントする企画を実施いたします。

7月上旬にウェブサイトやパンフレット等で、ご案内します。ご期待ください。

■メールマガジン登録のご依頼

青山学院のイベントやユースフル情報などを、構内の今の季節を伝える写真と共に配信しています。

インターネット募金でご寄付いただいた方は自動的に登録されます。ぜひ以下のメールアドレスより登録をお願いします。

E-mail:ag-info@aoyamagakuin.jp

■ご寄付に関する情報紙をお届けします。

今号では2017年度のご報告をいたしました。今後は定期的にご寄付の応募状況と用途について、こまめにご報告してまいります。次号以降では「大学新図書館建築募金」「青山アカデミア」などを順次ご報告してまいります。

青山学院・新経営宣言

Bethe Difference®

世界は一人ひとりの力で変えられる

問合せ先：学院連携本部

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25

TEL：0120-900-420

E-mail：ag-info@aoyamagakuin.jp



2018年度

教育研究資金(AOYAMA VISION)の取り組み

今後の取り組みについて、ご紹介いたします。

2018年度は、「AOYAMA VISION」の案件として、25件の取り組みを開始しております。
その中から、「教育・研究力の向上」「サービス・ラーニング」の取り組みについてご紹介いたします。

教育・研究力の向上



所長
E.S.マクレディ
文学部英米文学科教授



所長
平田 普三
理工学部化学・生命科学科教授

■シンギュラリティ研究所の設立

社会のあらゆる場面で、AIが人々の生活に関係し、浸透しつつある中で、私たちの社会を劇的に変えるであろうことが予見されております。

私どもでは、先端技術の研究と併せて、人間社会に与える影響を学問的に研究するユニークな拠点としてシンギュラリティ研究所を設立いたしました。

今年度は、4月から7月にかけて6名の識者にご講演いただく企画を実施しておりますが、その後の施策を順次発表してまいります。

■ジェロントロジー研究所の設立

日本は今、平均寿命の延伸による65歳以上の高齢者の増加と出生率の低下により、世界でも類を見ない超高齢社会の道を歩みつつあります。これを喫緊の課題として向き合うよう社会に啓蒙し、超高齢化社会を豊かにする教育・文化を発信します。

また、高齢者を新たな社会資産・経済市場と捉える発展的思考で文理融合型研究を推進することで、新たな学問分野の開拓やイノベーションを目指します。

ジェロントロジーは元々は老年学を表す造語でしたが、今では老いや高齢者に関わる諸問題を扱う総合研究分野として認識されています。

サービス・ラーニング

■フィリピン訪問プログラム(幼稚園～大学)

1989年にチャイルド・ファンド・ジャパンの活動を知った初等部の児童が支援を呼びかけたことをきっかけに、全学年で現地子どもたちを支援するようになり、その後、1996年に初等部でフィリピン訪問プログラムがスタートしました。

毎年3月には5～8名の初等部生と引率教員が、支援している子どもたちを訪ね、都市と農村のスラム街を見て回り、現地子どもたちとの交流を深めています。

その背後には、青山学院らしいリベラルアーツとクリエイティブ・シンキングの教育的プログラムが出来あがっております。その活動が中等部、高等部、大学へと広がり、幼稚園でも手作りクッキーの売り上げなどで支援しております。

今後は、訪問の児童・生徒・学生を増やし、青山学院らしいサービス・ラーニングを推進してまいります。



初等部フィリピン訪問プログラム (2018年3月)

2017年度

教育研究資金(AOYAMA VISION) 用途のご報告

教育・研究の一層の向上のために、2017年度は、2億1,000万円を使わせていただきました。
その中から、今号は特に「グローバル化の推進」「ブランド力の向上」「社会貢献」についてご報告いたします。
次号以降もいろいろなプロジェクトをご報告してまいります。

支出総額 **2億1,000万円**

グローバル化の推進

■国際学生寮の開設

グローバル化環境改善事業の一環として、武蔵小杉と相模原に国際学生寮を開設しました。外国人留学生と本学学生が共に生活し、国際交流の役割を果たしています。

■派遣留学生、私費留学生への奨学金の拡充

本学から海外の協定校や認定校への留学生と、本学で学ぶ外国人留学生のために奨学金を給付しており、2018年度も留学生の増加を目指して、推進していきます。

■海外インターンシップ推進事業

2017年夏期、2018年春期合わせて、3か国7都市に52名の学生をインターンシッププログラムに派遣いたしました。2018年度も継続していきます。

■チャットルームの改革推進

青山キャンパスに加えて、相模原キャンパスにも開設。校友や渋谷区、町田市、相模原市の地域住民にも開放。東北地方の中学生やニューヨーク大学とのSkypeセッションなど、多彩なプログラムを実施しています。



留学生がリーダーとなり運営されるチャットルーム

ブランド力の向上

■青学TVの開設

本学の魅力を存分に発揮し、大学間の競争等において優位性を確保するひとつの方策として、ネット上に本学独自のTV局を開設しました。学内外の最新情報をもとにした先端的な番組コンテンツを発信しています。

青学TV



社会貢献

■世界最高水準のクライシスマッピング・

ボランティア拠点設立

災害時の被害を最小限にすることや復旧復興活動支援を目的として、ドローンを使用した被災地遠隔支援手法「クライシスマッピング・ボランティア」拠点の構築に取り組んでいます。

■アートでつながる壁画プロジェクト

東日本大震災の被災地復興支援活動の一環として、岩手県宮古市の宮古港フェリーターミナルビルに壁画を設置する「アートでつながる壁画プロジェクト」を実施。幼稚園から大学までの在校生が制作に参加し、2018年6月に完成しました。



制作中の壁画

「万代基金」を創設しました

「万代基金」は、給付型奨学金(フィナンシャル・エイド)と教育研究資金(AOYAMA VISON)に充当いたします。給付型奨学金について、ご報告いたします。2017年度は、皆さまのご寄付により、412名の生徒・学生・院生に対して総額8,400万円の給付型奨学金を給付することができました。心より感謝申し上げます。

女子短期大学・大学・院生の一人あたりにすると、203,000円の支給額になります。

この金額は、仮に時給1,000円のアルバイトに換算すると200時間以上にあたります。

学生にとっては、その時間を勉強や部活動などの時間に充て、少しでも充実した学生生活を送ることができます。受給している学生から、感謝の声が寄せられています。

奨学金受給学生からのメッセージ

AI時代でも、
活躍できる通訳に



文学部 3年

岡野 健人

生活に余裕ができて、様々な価値観を吸収できるようになりました。

笑顔のあふれる
社会をつくりたい



経済学部 2年

古村 花織

奨学金によって、いろいろなことにチャレンジできるようになりました。

中学・高校の教員を
目指したい



文学部 3年

藤田 ジュリアン

奨学金によって将来の不安がなくなり、夢を描けるようになりました。

2017年度 ご寄付による給付型奨学金 使用実績 **412名 8,400万円**

表1 2017年度ご寄付による給付型奨学金使用実績

学校	人数	金額
大学・大学院	353	72,207
女子短期大学	43	8,350
高等部	15	3,000
中等部	1	380
合計	412	83,937

(単位：千円)

表2 2017年度万代奨学基金運用益の主な使途

使途	人数	金額
大学地の塩世の光奨学金	71	17,750
大学産学合同万代外国留学奨学金	58	21,600
貸与奨学金	62	42,700
高等部特別奨学生給付金	12	1,800
大学学業成績優秀者表彰	247	3,630
大学体育会優秀選手奨励給付金	68	2,020
合計	518	89,500

(単位：千円)

貸与型奨学金は社会問題に

青山学院大学の学生が受けている日本学生支援機構(JASSO)等での貸与型奨学金の現状は、2017年度においては、3,400人の学生が総額で28億8,300万円にものぼっています。

貸与型奨学金は、昨今の社会的な問題ともなっているように、学生は初めから大きな負債を背負って社会に出ていくことになるのです。

「万代基金」の創設へ

皆さまのご寄付による給付型奨学金は、上記表1のとおり、412

名の生徒・学生・院生に8,400万円を給付することができましたが、この他に別会計としている「万代奨学基金」からは、その運用益の一部を、上記表2のとおり、9,000万円を生徒・学生・院生への奨学金・奨励金のために用いました。

青山学院は、給付型奨学金制度の充実を目指し、「万代基金」を創設しました。「万代基金」の名の由来は、青山学院のために、自らの資産を投じた万代順四郎氏の偉大な功績を讃えるものです。詳細は同封の「万代基金」のパンフレットをご覧ください。皆さまのご理解とご支援をお願いいたします。

2017年度

募金応募状況のご報告

皆さまのご厚意により、2017年度は7億4,000万円のご寄付を頂戴いたしました。厚くお礼申し上げます。

2017年度のご寄付の総額、累計総額と使途をご報告いたします。

今後も青山学院の取り組みにご理解いただき、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

AOYAMA VISION募金 目標額: **150億円**
ご寄付総額 **7億4,000万円** 累計総額 **23億1,000万円**

募金種類	2017年度		2015年度~2017年度	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
AOYAMA VISION募金(指定なし)	1,007	308,446,708	1,984	812,172,365
中等部新礼拝堂指定寄付	375	11,587,164	1,642	81,225,546
大学新図書館建築募金	238	25,409,198	544	66,314,198
初等部創立80周年記念募金	456	41,549,000	456	41,549,000
EG本棚募金	64	276,687	155	596,447
使途指定型募金	416	74,247,607	1,276	238,909,649
スカラーシップ奨学金	361	64,784,463	1,036	295,527,184
維持協力会募金	631	18,250,893	1,884	53,663,780
指定寄付 他	79	193,164,531	451	719,546,094
合計	3,627	737,716,251	9,428	2,309,504,263

募金種類別金額内訳表

